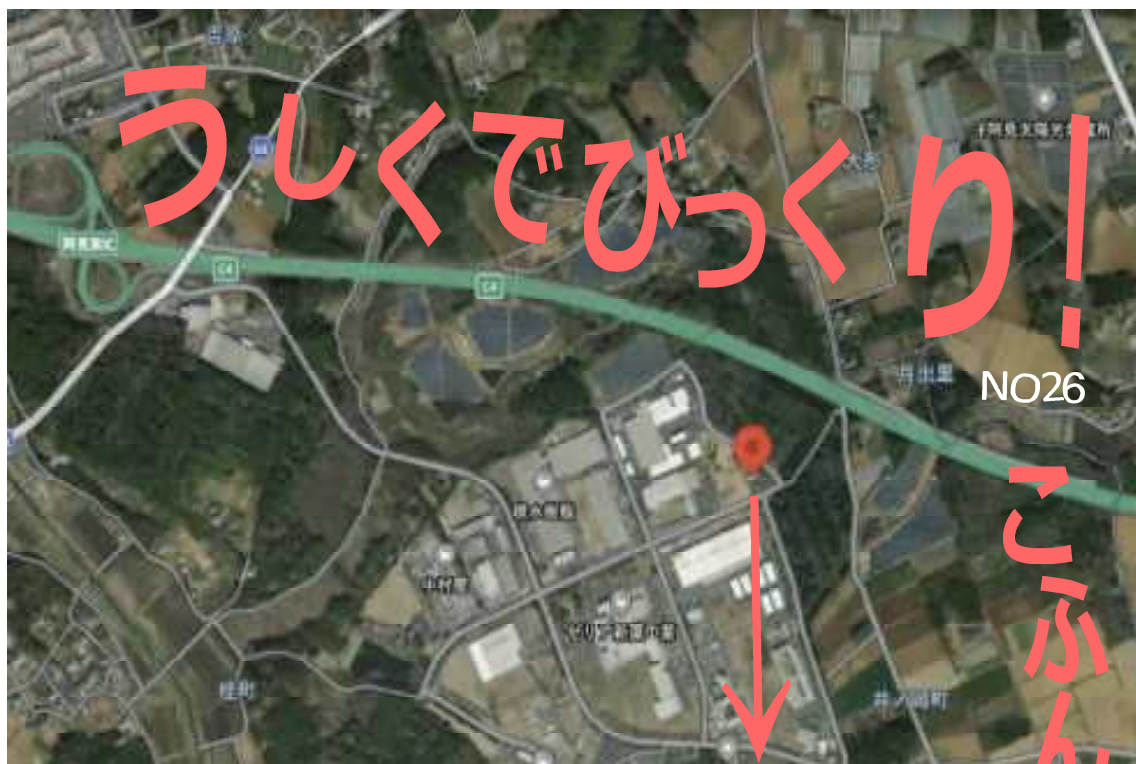




うしくでびっくり!
NO26
ししみづかこふん
おくの地区社協
さく いいだ あきお

なっちゃんは、おくの
の しょうがくせい。



あるひのこと。なっちゃんが、**かつら**のこみちをさんぽしていると2つの**おか**がみえた。

びっくり！

おかあさんにきいてみた。

「あの2つの**おか** なんというの？」

おかあさん、しばらく、かんがえて

「わからないわ」

「ん～、きになっちゃう」

ど
う
し
よ
う



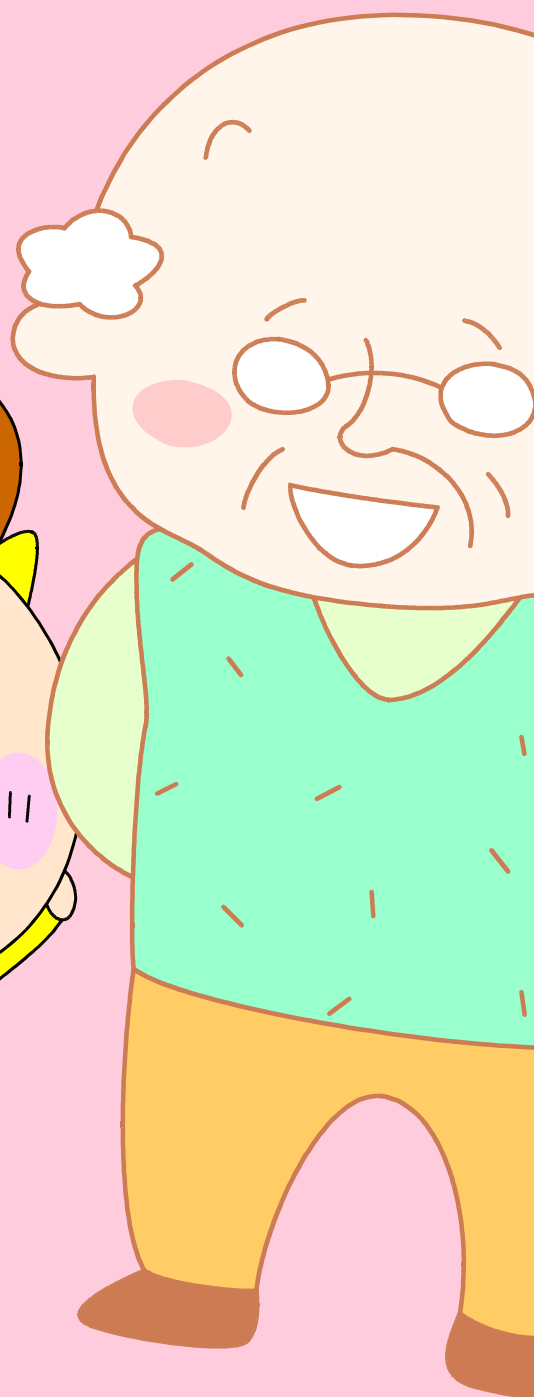
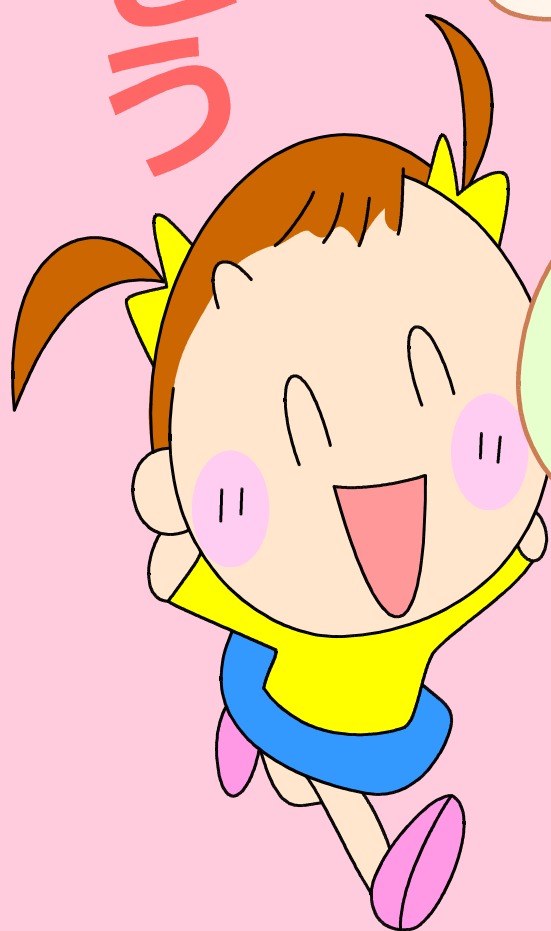
「おじいちゃんにきいて
ごらん」

こまったなっちゃん、
ものをよくしっている
おじいちゃんに きいて
みた。

すると

「ん～、たしかこふんだ
とおもったな。くわしい
ことは、あきおさんにき
いてみるか。いっしょに
いってあげるよ」

えん!
ほんとうに



よーし
きめた！



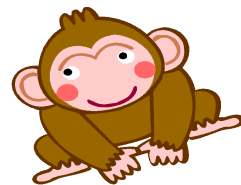
しらべてみよう

さっそく、あきおさん
のいえに　いって、きい
てみた。すると、

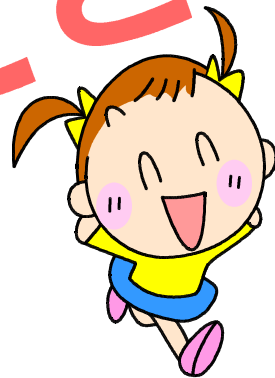
「いいことにきがついた
ね。あれはね。ししみづ
かこふんといつて、むか
しのこのあたりのおおさ
まのはかなんだよ。では、
あんないしてあげよう
ね」

こうして、3にんでい
くことになった。

あれあれ、これはおもしろそうと、な
ぜなぜくんが、もりからあそびにきたよ。
どこかな？



わくわく
どきどき



さんにんは、まず、し
しみづかこふんにいくこ
とになった。

おくのぎむきょいくが
っこうからみほほうめん
へ・・・



どうろからみたこふんだ。ぜんちょう (全長) やく 3 2 m (め-とる)。

かいだんをのぼったら、くさだらけ。



でも、よくみるとひとがあるいたみちが
・・・のぼってみよう！

がさがさ がさがさ

「よいしょ よいしょ」

くさをふ
みわけ ふ
みわけ、こ
うえんぶの
てっぺんに
むかった。



やったー



てっぺんだ！

てっ
ぺんか
らき
たが
をみる
と・
・
。



まわりは、

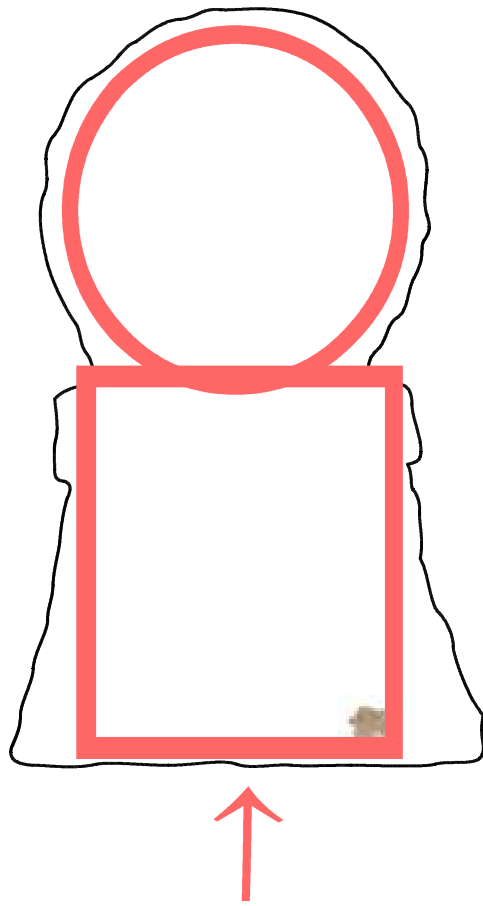


こんなかんじ。

よくみると、
こんな**かたち**だった。



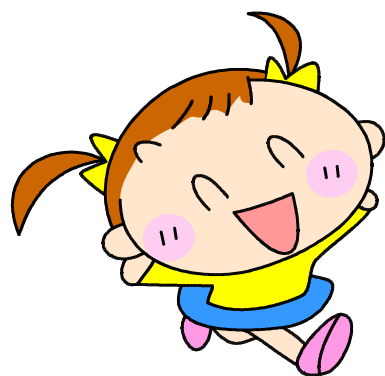
びっくり!



まえからみると
まえが、しかく。
うしろが、えん。
だから、
ぜんぽうこうえんふん
(前方後円墳)、というんだよ。

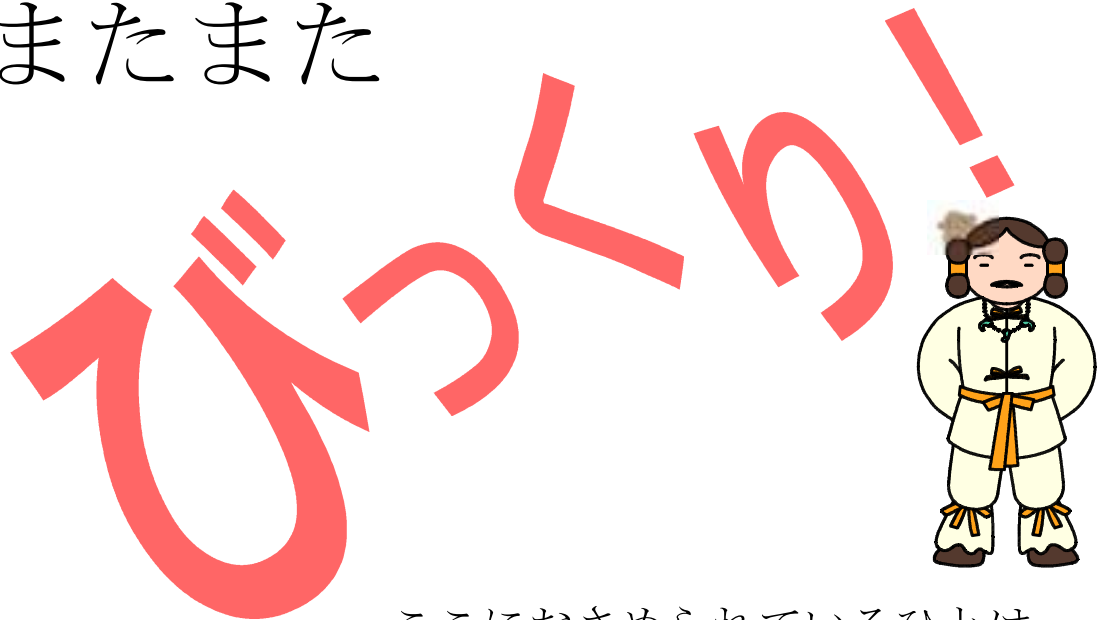
うしくでは、2かしょ
みつかっているんだ。そ
のなかのひとつが、ここ
なんだよ。

びっくり!



すごーい。

じつはね。ぜんぽうこ
う えんふん (前方後円墳) は、
にほんをまとめていたや
まとちょうてい (大和朝廷) が、
みとめたごうぞく (豪族) だ
けが、つくることをゆる
されたこふんなんだよ。
またまた



ここにおさめられているひとは、
どんなひとだったのかな？

それはね・・・。

このころのくらしは、とり
やけものをとり、どんぐりな
どをとって、たてあなしきじ
ゆうきよでくらしていた。

しかし、こめづくりがさか
んになると、みんなでおこな
うしごとがおおくなり、むら
ができてきたんじや。そのリ
ーダーが、おさ_(長)。

こうして、ゆたかなむらと、
まずしいむらがうまれ、ちい
さなくにになったんじや。そ
のおおさまこそ、このこふん
のぬし_(主)なんじやよ。

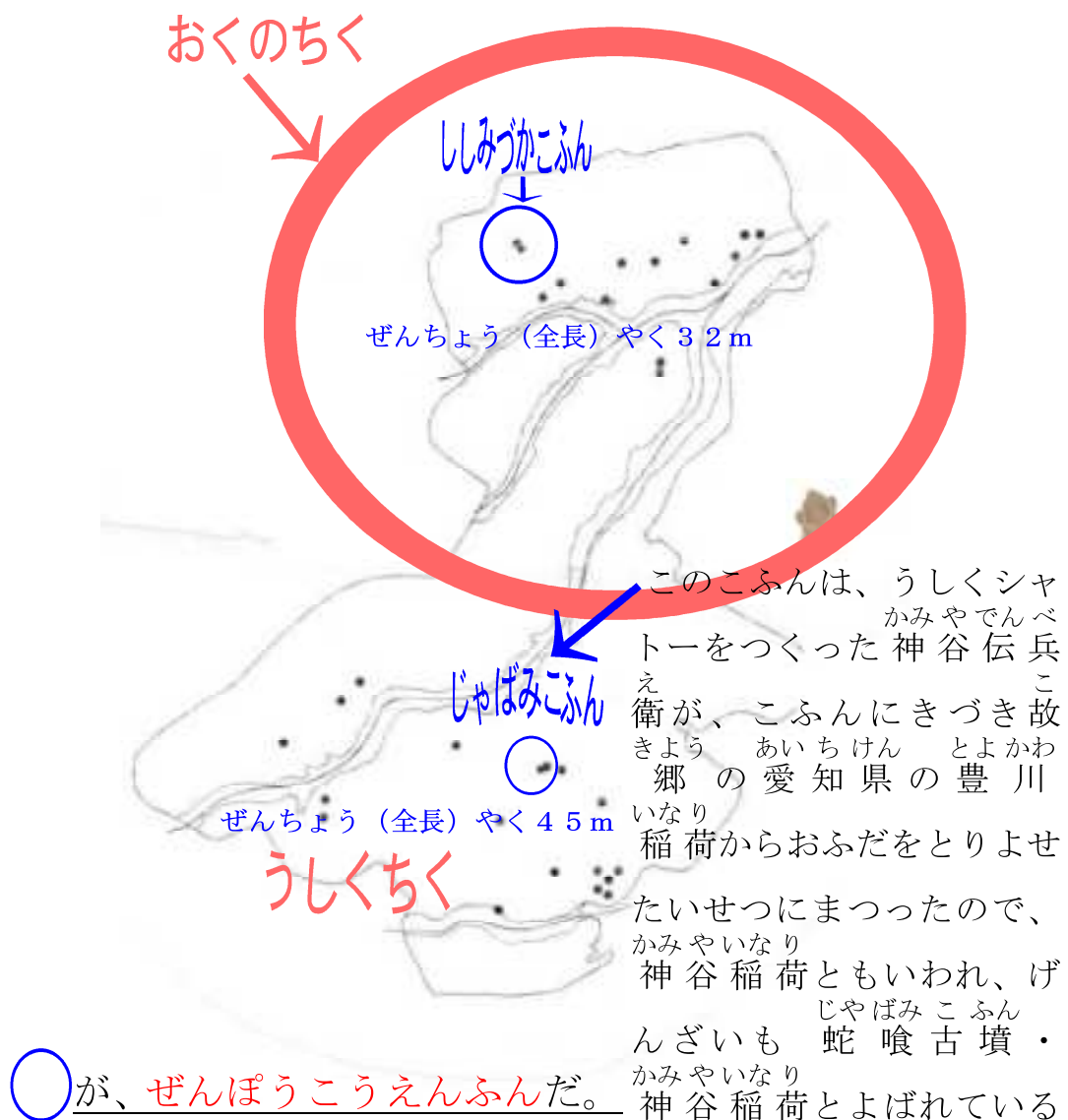


そうか。

びっくり!

つぎのずが、うしくに
ある **こふん** のばしょだ
よ。

(資料 牛久市史 原始古代中世より)



「ほかには、どんなかたちがあるの？」

ここでクイズ。こふんのかたちは、なんしゅるいあるとおもう。

- ① 2 しゅるい
- ② 3 しゅるい
- ③ 4 しゅるい

せいかいは？

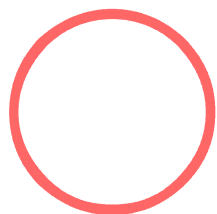


せいかいは、

「④ 4 しゅるい」

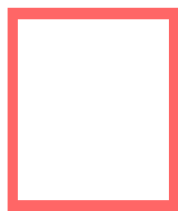
そのなかの

ひとつは、こんなかた
ちの



えんぷん。

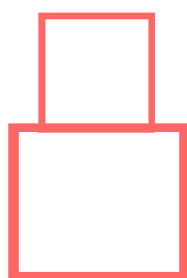
つぎにこんなかたちの



ほうふん。

つぎに、こんなかた
ちの

ぜんほう



こうほうふん。

そして、さいごは、
ぜんぽうこうえんふん。

「どうして、こんなに
かたちがちがうの？」

それはね・・・。やま
とちょうてい^(国)が、か
たちやおおきさで、ごう
ぞくのみぶんをあらわし
たからなんだ。

では、ここでクイズ。
いちばんみぶんのたかい
こふんは、なんばん？

※こたえは、ぜんぽうこ
う えんふん (前方後円墳) だ。

ちなみに

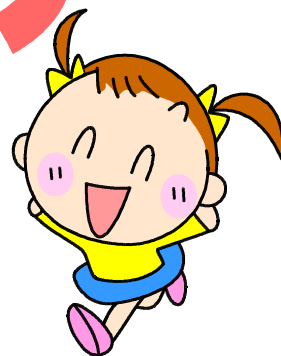
2 いは、
ぜんぽうこうほうふん
(前方後方墳)、
3 いは、えんぷん (円墳)
4 いは、ほうふん (方墳)
の じゅんだ。



「と　　いうことは、この
こふんをつくったひと
は、かなりみぶんのたか
いひとだったんだ」

びっくり！

すごーい

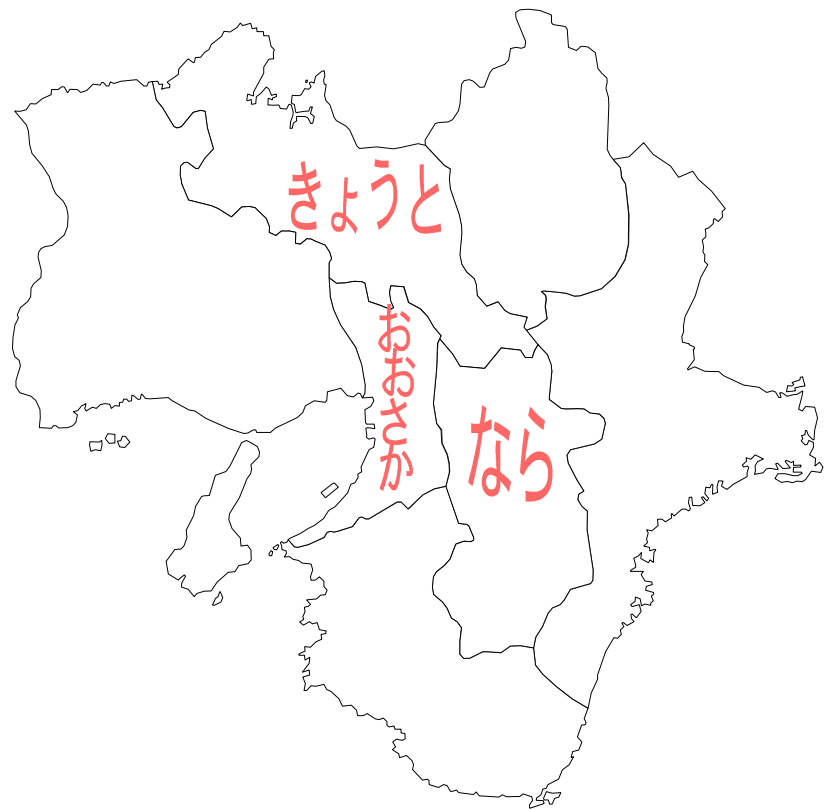


「でも、ここがこふんだなんて、いままで、し
らなかったわ。ここにき
ても、かんぱんもなく、
あきおさんにいわれるま
で、わからなかったわ」

となっちゃん。ちょ
っぴりさみしそう。

すると、あきおさん、
もっともっと、はなし
てくれた。

その1、おおきなこふ
んは、むかしみやこがあ
ったきない（畿内）（きょう
と・なら・おおさか な
ど）にあつまっているん
だ。



その2、かずでは、**かん**
とうが、おいんだ。

1 い ちば 7 3 3 き (基)

千葉

2 い ぐんま 4 5 5 き (基)

群馬

3 い **いばらき** **3 9 1** き (基)

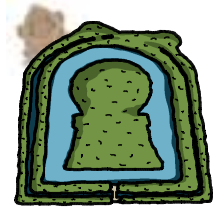
茨城

めいど!
いばらきけんは、
にほんで**だい3**い



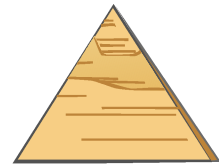
その3、せかい3だい ふんぼ (墳墓) のおおきさ くらべ!

にんとくてんのうりょうこふん
だいせんりょうこふん
(大仙陵古墳 : せかいいさん)



ぜんちょう (全長) やく 4 8 6 m
たかさ やく 3 6 m

クフおうのピラミッド
(せかいいさん)



ぜんちょう (全長) やく 2 3 0 m
たかさ やく 1 4 6 m

しんのしこうていりょう
しん しこうていりょう
(秦の始皇帝陵 : せかいいさん)

ぜんちょう (全長) やく 3 5 0 m
たかさ やく 7 6 m

にほんのこふん すごーい

つぎに、いのおか (井ノ岡)
のいなりづかこふんぐん
(稲荷塚古墳群) にいくことにな
った。

(牛久市文化財ガイドマップより引用)



しまだからいのおかお
おはしをわたって、さか
をあがってすぐのところ
のみぎがわに・・・



ひだりがわのみちにま
がると・・・



すると
しろいかんぱんが...



めじるしの
しろいかんばんだ。



ここが、いなりづかこふんぐんで
よくめだつ、4ごうふんだ

ぺんやく たか やく ほうふん
1 辺 約 15m ・ 高さ 約 2m の 方 墳 (牛久市史料 原始・古代一考古資料編)

このヤマザクラは、
しのほごじゅもくになっているよ
(市) (保護樹木)



かえりぎわにあきおさん
が、あつくかたってく
れた。

「なっちゃんのようなこ
どもたちに、こふんが、
おくののたからもののひ
とつだと きづいてもらえ
るといいんですよ」

と。

ん～
たのしかった！

「また、こよーっと」

やっぱり、こふんにく
ると、むかしのひとのあ
せと なみだが、わかって
くるようなきがして・・

・
。

やっぱり こふんは、お
くののたからものなんだ
ね。

さて、こんどは、なに
をしらべようかな？

あれあれ？「すごーく、たのしかった」と なぜな
ぜくん。つぎのひみつをもとめてスキップしながら
かえっていった。

またね 